

女性が活躍できる

環境創出ストーリー

多様な人材を受け入れ 働きやすい環境を創造し 介護業界をリードする



ケアスタッフは入居者が幸せを感じられるホスピタリティーあふれる支援を実践している

多摩地区 社会福祉法人 合掌苑

- 設立年: 1960年
- 理事長: 森 一成
- 従業員数: 182名(内、女性従業員数103名)
- 〒194-0015
- 東京都町田市金森東3-18-16
- TEL: 042-799-2144
- <http://www.gsen.or.jp>

職員の約8割が女性という合掌苑では、社員それぞれが状況に応じて働ける仕組みや制度を数多く導入している。そんな恵まれた環境の中でいきいきと働く職員たちの姿を追った。

それぞれの立場に合った 使いやすい制度を導入

町田市で、養護老人ホーム「合掌苑 金森」、有料老人ホーム「輝の杜」「鶴の苑」を運営する社会福祉法人合掌苑。その源流を訪ねると、1945年の東京大空襲で焼け出された身寄りのない人を引き受けたお寺にたどり着く。

「そんな歴史から、合掌苑は『人は尊厳を持ち、権利として生きる』という理念を大

切にしてきました」

合掌苑の森一成理事長は同法人の成り立ちと理念を語り、こう続ける。

「入居者様が幸せになるには、お世話する職員が幸せでなければなりません。そこで職員満足度(ES)を上げることこそ顧客満足度(CS)の向上に繋がると位置付け、数々の取組を行ってきました」

同法人の制度は、それぞれ職員の状況に合わせて使いやすいように工夫されている。特に約8割を占める女性職員も働

きやすい職場を作り、ESの向上を目指した仕組みを導入してきた。

最も象徴的なのは出産・子育て支援だ。労働基準法では産前休業は出産予定日の6週間前からということになっているが、同法人では8週間前から取得できる。その差分の2週間は妊娠初期のつわり時に充てることも可能だ。

時間単位で取得できる看護休暇制度もその一つで、子どもを病院に連れていく時間を看護休暇に充てられるのだ。さらに



- ① 2児の母である米塚真悠子さんは職場の同僚たちに感謝しながら働く
- ② 働きやすい環境だから自然に職員の表情も明るくなる
- ③ 合掌苑の理念に共感、職場の雰囲気に好感を持って入社し、いきいきと働く安藤節子さん
- ④ 有料老人ホーム「鶴の苑」のエントランス。ケアスタッフは清潔な施設で入居者のお世話をしている

企業が船ならどこに向かおうとしている船なのかを見極めてください



森一成理事長

同法人独自の採用方針として「25大雇用」を掲げ、ひとり親家庭や外国人など多様な人材の受入れ態勢を整えている。例えばひとり親家庭は、経済的弱者に陥りがちなため資格がなくても積極的に採用。経済的な自立を支援している。多様性を受け入れることで、各自のモチベーションが高まっている。

感謝の気持ちにあふれた職場

「鶴の苑」でケアスタッフとして働く米塚真悠子さんは、入社後2人の子どもを出産。産休・育休制度を活用して復職したというキャリアの持ち主だ。

「看護休暇制度や職場の理解があったのは、子育てと仕事を両立する上で有り難かったです」

そう感謝の言葉を口にする米塚さんは現在、子どもとの時間を長く取るため限

定制正職員という立場で働いている。平日9時～16時半の勤務で、退社後には家族の夕食の準備にもたっぷり時間が取れるなど、規則正しい毎日が送れると笑顔を向ける。

2014年に入社した安藤節子さんは、「職場見学の際、行動指針の『人間大好き』『笑顔を忘れない』を、職員の方々が実際に働く場で実践されていると強く感じたのがきっかけ」と入社理由を語る。

安藤さんは現在、入居者の入浴、排泄などの身体介護に当たる。安藤さんがお世話をするのは比較的自立度の高い人たちのため、入居者の生活のリズムを守りながらお世話をすることを心掛けているという。

そんな安藤さんが何よりもうれしいのは、入居者からのありがとうの一言。そうした感謝の言葉を掛けられる回数も増えてきたと表情を輝かせる。

編集部

「ハツタロー・ケンジロー」メモ

全国の福祉施設に 経営ノウハウを伝授

現在、介護職は恒常的に人手不足である。そんな時代背景を考慮して、同法人では未経験者を採用して育ててきた。その経営手腕が評価され、見学者は後を絶たないという。

また、森理事長は福祉施設の運営のヒントになればと全国に講演に出掛け、職員が働きやすい環境作りに挑む同法人の考え方と取組を紹介していると話す。「当施設のノウハウを伝えることで、各地域の福祉法人のお役に立てれば嬉しい」と熱く語る姿は、超高齢社会の中にあつて実に頼もしく映った。



さらに詳しい会社情報は ▶ 東京カイヤハッケン伝! サイトへ ▶▶